

28年センター試験実施速報(平均点等「中間発表」)

28年センター試験“基幹3教科”平均点合計(中間集計/600点満点)

**「国語＋数学(I・A＋II・B)＋英語」は、
5.1点アップの349.5点(得点率58.3%)!**

国語+9.5点、数学I・A-6.0点、数学II・B+8.2点、英語-6.6点!

旺文社 教育情報センター 28年1月20日

28年センター試験(本試)が1月16日(土)・17日(日)の両日、全国693試験場で実施された。

今回のセンター試験は、前年、先行実施された新課程「数学・理科」に続いて、全教科・科目が新しい学習指導要領に対応して出題された。前年は数学・理科において既卒者用に旧課程科目も出題されたが、28年はこうした「経過措置」は講じられていない。

大学入試センターは1月20日、各科目の平均点等の中間集計を発表。旺文社は当データを基に、基幹3教科の国語、数学(I・A＋II・B)、英語の平均点合計(600点満点)を算出した。

前年、過去最低(確定値)となった数学II・Bが8.2点アップ、国語も9.5点アップの2年連続の大幅上昇である。一方、前年ややダウンの数学I・Aは2年連続ダウン、英語も筆記・リスニングともダウンした。結局、国語と数学II・Bの大幅アップによって、基幹3教科の平均点は前年より5.1点アップの349.5点(得点率58.3%)となった。

■センター試験の志願状況

<志願者数56万3,768人、3年ぶりの増加>

① 志願者数、前年より4,636人増

28年センター試験(以下、セ試)の志願者数は、前年比0.8%増の56万3,768人で、3年ぶりの増加となった。

なお、志願者数に対する受験者数の割合(受験率)は27年の場合、約94%となっており、例年、外国語(筆記)の受験者数が一番多い。

② 現役生は2年連続の“増加”、既卒者は2年連続の“減少”

28年は高卒者数の減少(対前年比0.9%減)が予測されるものの、現役生の大学への進学志向を示す現役志願率の高まりなどから、セ試志願者の現役生は2年連続の増加となる46万2,335人(前年より6,943人、1.5%増)だった。現役志願率は、前年を0.9ポイント上回る43.4%で、過去最高を更新。

一方、既卒者は、前年より2,274人(2.3%減)の9万6,454人で、2年連続の減少である。

なお、高等学校卒業程度認定試験の合格者等の志願者は、前年より33人(0.7%減)の4,979人だった。

③ 際立つ大都市圏での女子の志願者増

28年セ試の志願者増 4,636 人の男女の内訳をみると、男子が 435 人増(増加人数の 9.4%)に対し、女子が 4,201 人増(同 90.6%)で、90%以上が女子の増加である。特に、関東・首都圏を中心に大都市圏での増加が目立つ。

また、志願者数 56 万 3,768 人の男女別は、男子が 31 万 4,286 人(構成比 55.7%)、女子が 24 万 9,482 人(同 44.3%)で、女子の比率は前年より 0.4 ポイント高まっている。

■ 「追試験」、「再試験」の実施

- 「追試験」は、病気や負傷、試験場に向かう途中の事故、その他やむを得ない事由により「本試験」を受験できなかった者を対象者として実施される。

28年の東日本地区は東京芸術大(音楽学部)、西日本地区は京都工芸繊維大でそれぞれ 1月23日(土)・24日(日)に実施される予定である。

- 「再試験」は、雪・地震等による災害、試験実施上の事故、その他の事情により、「本試験」が所定どおり実施できなかった場合に実施される。実施日は、「追試験」と同じ。

■ 科目別平均点等(中間集計：大学入試センター発表、1月20日)

大学入試センターが発表した 28年セ試の平均点等の「中間集計」から、理科の「基礎科目」(50点満点)も含め、主な科目の前年との平均点差等をみってみる。

- 平均点がアップした主な科目は、生物(前年の「中間集計」値との差。以下、同。+15.1点)、国語(+9.5点)、数学Ⅱ・B(+8.2点)、地学基礎(+7.0点)、政治・経済(+5.3点)、日本史B(+2.8点)、物理基礎(+2.7点)、生物基礎(+1.3点)、地理B(+1.1点)など。
- 一方、平均点ダウンの主な科目は、化学基礎(-8.1点)、英語(-6.6点<200点換算>。「筆記」-3.8点/「リスニング」-4.5点)、数学Ⅰ・A(-6.0点)、現代社会(-5.0点)、化学(-4.2点)、地学(-2.9点)、倫理(-2.5点)など。
- セ試の地歴、公民、理科における各科目の得点には、「第1解答」と「第2解答」の得点が混在するため、各科目の平均点の実態が把握しにくい。

そのため、平均点の動向をみる一つの視点として、文系・理系に共通の“基幹3教科”である国語、数学、英語の平均点合計を算出した。

大学入試センターから発表された科目別平均点等の「中間集計」を基に算出した“基幹3教科”平均点合計(600点満点)は、次のとおりである。

●【国語 + 数学(数学Ⅰ・A + 数学Ⅱ・B) + 英語】：349.5点(600点満点)

(前年「中間集計」値との差：+5.1点)

- 28年セ試では、次の各科目間で原則として“20点以上”の平均点差が生じ、これが“試験問題の難易差”に基づくものと認められる場合に「得点調整」が行われる。

ただし、受験者数が“1万人未満の科目”は、得点調整の対象外とされている。

- ① 地理歴史の「世界史B」、「日本史B」、「地理B」の間
- ② 公民の「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の間
- ③ 理科②の「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の間

- 「中間集計」時の上記の「得点調整」対象科目をみると、「生物」－「地学」＝23.7点だが、「地学」の受験者数(前年の本試験<確定>受験者数1,992人。経過措置の旧「地学I」の受験者数は2,893人)が1万人を下回ると予測されることから、実施される可能性は低い。

なお、「得点調整」実施の有無については、28年1月22日(金)に大学入試センターから発表の予定である。

■出願動向予測

- 28年入試は、根強い国公立大志向・地元志向のもと、企業の採用状況の好転など景気の回復基調が伺える中、学部系統では経済系などへの文系回帰から、前年に引き続き弱めの「文高理低」となりそうだ。

なお、国公立大の2次出願は、1月25日(月)～2月3日(水)である。



次ページに「28年センター試験平均点等一覧」(中間集計)を掲載。

平成28年度 大学入試センター試験(本試験) 平均点等一覧[中間集計]

<平成28年1月20日 大学入試センター発表>

教科	科目	平成28年(中間)		平成27年(中間)		平均点 対前年差		
		受験者数	平均点	受験者数	平均点			
基幹3教科 平均点合計(600点満点) 【国語+数学Ⅰ・A+数学Ⅱ・B+英語(200点換算)】		- (得点率)	349.5 58.3%	- (得点率)	344.4 57.4%	5.1		
国語(200点)		国語		222,768	125.9	215,747	116.4	9.5
地理歴史・ 公民	地理歴史(100点)	世界史A		647	43.5	654	48.2	▲ 4.7
		世界史B		39,745	68.9	38,599	67.9	1.0
		日本史A		1,181	40.8	1,098	45.0	▲ 4.2
		日本史B		70,764	66.6	64,166	63.8	2.8
		地理A		803	54.1	763	53.7	0.4
		地理B		46,759	61.7	46,716	60.6	1.1
	公民(100点)	現代社会		29,833	55.8	27,792	60.8	▲ 5.0
		倫理		9,739	51.6	10,785	54.0	▲ 2.5
		政治・経済		19,990	61.8	18,400	56.5	5.3
		倫理、政治・経済		21,011	61.0	19,862	60.4	0.6
数学	数学①(100点)	数学Ⅰ		2,380	37.9	2,123	33.3	4.6
		数学Ⅰ・数学A		155,171	56.7	135,572	62.7	▲ 6.0
	数学②(100点)	数学Ⅱ		2,364	29.1	2,093	23.2	5.9
		数学Ⅱ・数学B		139,494	50.2	119,070	42.0	8.2
		簿記・会計		309	56.4	257	64.1	▲ 7.6
		情報関係基礎		114	60.8	125	51.2	9.6
		工業数理基礎		0	—	3	48.0	—
理科	理科①(50点)	物理基礎		8,095	35.1	5,599	32.4	2.7
		化学基礎		37,004	27.6	31,112	35.7	▲ 8.1
		生物基礎		42,734	28.3	37,373	27.0	1.3
		地学基礎		14,325	35.7	11,846	28.6	7.0
	理科②(100点)	物理		65,297	62.3	56,065	62.3	0.0
		化学		84,447	55.7	71,661	59.9	▲ 4.2
		生物		30,941	64.2	27,462	49.1	15.1
		地学		886	40.6	777	43.4	▲ 2.9
外国語(200点)	英語	筆記(200点)		233,457	114.7	237,285	118.5	▲ 3.8
		リスニング(50点)		227,755	31.3	231,917	35.7	▲ 4.5
		筆+リ(200点換算)		—	116.8	—	123.4	▲ 6.6
	ドイツ語		96	128.2	97	143.7	▲ 15.5	
	フランス語		125	150.9	116	149.4	1.4	
	中国語		323	160.2	272	160.2	0.0	
	韓国語		112	130.8	87	136.6	▲ 5.8	

<注>

- ① 英語の平均点(200点)は、「筆記」(200点)＋「リスニング」(50点)の250点満点を200点に圧縮換算。
- ② 大学入試センター発表の科目別平均点は小数第2位の表示だが、旺文社では小数第1位で表示。
- ③ 表中の「平均点対前年差」は、四捨五入の関係で「28年-27年」と一致しない場合もある。
▲印はダウンを示す。
- ④ 「工業数理基礎」は旧課程履修者のみ受験可能。
- ⑤ 地歴(各B科目間)、公民(「倫理、政治・経済」除く、各科目間)、理科②(発展科目間)における得点調整は、「生物」-「地学」の23.7点が最大だが、地学の受験者数は1万人に満たないものと見られ(前年最終で約2,000人)実施されない模様。

旺文社 教育情報センター(平成28年1月20日)

